

幼保連携型あたま認定こども園 教育及び保育の内容

1 乳幼児期の教育の重要性

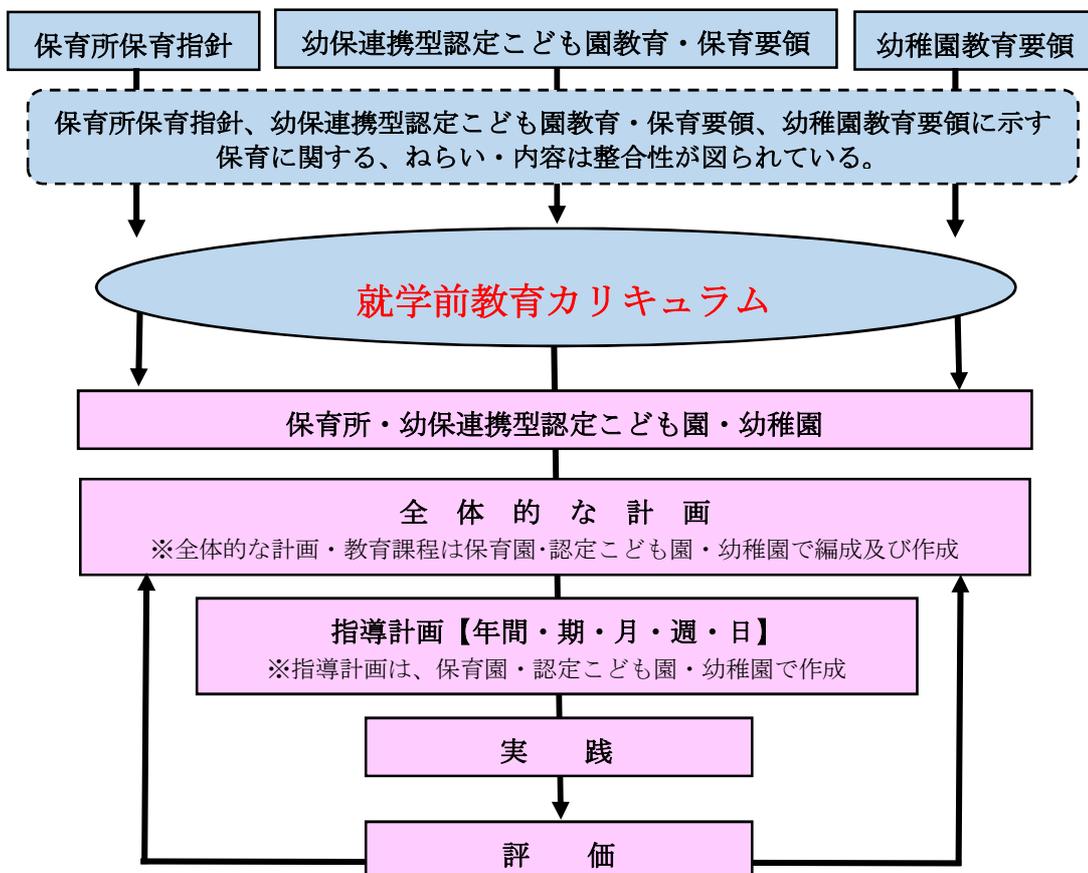
乳幼児期の教育は、生涯における人格形成の基礎を培う重要な役割を担っている。そのため、乳幼児期にふさわしい生活を展開する中で、園児の遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力・感性や表現する力などを育み、社会と関わる人として生きていくための基礎を培う時期となる。

また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されていることを基として、園児一人一人の資質・能力を育み、小学校以降の教育や生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、園児の自発的な活動としての遊びを通しての総合的な指導を行うことが大切とされている。

2 熱海市就学前カリキュラムとの関連

現在、熱海市の幼児期の教育は「熱海市総合計画（教育部門）」及び「熱海市教育振興計画」を基本計画に位置づけ、小学校教育への円滑な接続に向け進めている。その際、幼児期の教育の指標となる「熱海市就学前教育カリキュラム」を活用しながら教育の質を確保し、発達や学びの連続性を踏まえた教育の充実を図っている。あたま認定こども園においても、「熱海市就学前教育カリキュラム」を教育及び保育の内容に反映し、具現化していくことにする。

【就学前教育カリキュラムを活用した全体的な計画・教育課程の編成】



3 教育・保育目標

「心豊かにたくましく生きる子」

4 教育・保育の重点

「豊かな心を育む（つながる力）」

自分に自信をもち、明るく、前向きに、たくましく生きようとする力や、自分の思いを言葉等で伝えたり、相手の話を聞いたり、目的に向かって協力したりする力を身につける。

「健康な体を育む（元気に生活する力）」

基本的な生活習慣を身につけ、運動や食事を楽しみ、心身ともに元気で安全に生活する力や、身の回りや生活の場を整え、1日の見通しをもって自立的に生活する力を身につける。

「学びの芽を育む（考えてチャレンジする力）」

日々の生活や遊びの中で、自分のやりたいことを実現するために、試行錯誤を繰り返し、工夫・探求する力や困難なことに出会っても挑戦し、粘り強く取り組む力を身につける。

5 教育及び保育の具体的な方策

子どもたちは今後、現在よりも一層便利な世の中（AI時代）で生きていくことになる。しかし、便利になる反面、便利になることで人間としての幸せを感じられなくなることも懸念される。「あたま認定こども園」では、人間としての幸せと言える、「人とかかわってよい関係をつくる喜び」や「自分の体が思うように動く喜び」を乳幼児期から育むこと、そして、実体験を通して知ったことや発見したことを、どのように遊びや生活に役立てていくかという「学び」を積み重ねることを、日々の遊びや生活を通して経験させたい。

① 「豊かな心を育む（つながる力）」

人と関わること大好き

●一人でも遊べる、友達とも遊べる場の確保

- ・一人一人の子どもの表れを肯定的に受け止め、愛情をもって関わる。
- ・支援を必要とする子に対しては、関係諸機関と連携をとりながら必要な支援を模索していく。
- ・乳児棟で過ごす0歳から2歳に対しては、ゆったりと、子どもが自分の世界でのびのびと遊べる環境を用意し、日々の生活や遊びの中で、笑顔で関わることや応答的に関わることを大切にする。ひとり遊びや並行遊びを保障し、個の育ちを支えていく。また、様々な感覚が育ち始める時期なので、手足をよく動かす遊びをもとに、脳に刺激を与え、よく気づき考える頭を育て、「豊かな心」の土台を作る。
- ・幼児棟の3歳から5歳の遊びは、個の遊びから協同的な〈集団〉遊びへ移行していく。友達との関わりが増えていくため、自分の思いを伝える・友達の思いに気づく・我慢する・折り合いをつける・協力する等の場面が増えてくる。遊びや生活を通して、「たくましく生きる子」を意識して、一人一人の子どもたちの心の育ちを支え、育んでいく。
- ・一人一人の子どもが安心して生活や遊びができる居場所を作る。
- ・異年齢児や小学生とのかかわりの中で、互いに親しみをもつと共に、憧れや思いやりの気持ちをもてるよう、生活や遊びの場を工夫する。

（具体的な方策）

- ・2つの園舎を活用した、0歳～5歳の発達に合わせた保育
- ・異年齢児との合同保育
- ・小学生との交流活動

●様々な人とのコミュニケーションを重ねる（様々な人とかかわる）

- ・保護者・地域の方・未就園児が参加できる保育を工夫し、一緒に遊んだり話をしたりする場を作り、様々な人とかかわる場をつくる。
- ・園外保育に出かけ、地域の人やもの、自然に触れる経験を通して、言葉を交わしたり新しい発見をしたりすることで、小嵐の地域や熱海のよさを知る機会としていく。

〈具体的な方策〉

- ・保護者、地域の方の保育参加
- ・未就園児との交流（子育て支援）
- ・外国人の先生と遊ぼう

② 「健康な身体を育む（元気に生活する力）」

熱海の自然大好き 身体を動かすこと大好き

- ・自分の身体を大切にし、健康で安全な生活に必要な習慣や態度を育てる。
- ・小さなけがを経験し、大きなけがを防ぐ力を身につける。
- ・園舎・第二小学校の使用可能施設を有効的に活用する。
- ・いつでも身体を動かせる園舎の特色を活かし、運動遊びの意欲や挑戦心を高め、運動量の増加につなげていく。
- ・熱海の四季折々の自然に触れながら戸外で遊ぶ機会を設け、体を動かすことの楽しさや心地よさを感じられるようにする。
- ・地域の様々な場所に出かけ、よく歩く経験を通して多様な身体の動きを身につける。また、自然にかかわりながら、観る力、聴く力、触れる感覚、香りを感じる力などの五感を育む。

〈具体的な方策〉

- ・健康・安全に必要な習慣を育む生活環境
- ・走り回れる「オープンスペース」
- ・園舎の中にある「水場」と「運動遊具」
- ・季節の変化を感じながら遊ぶ「中庭」「テラス」「戸外」
- ・うみ風、やま風、まち風に触れる「園外保育」
- ・小学校の施設利用「プール・グラウンド」など

食べること大好き

- ・熱海の旬の食材の利用や園舎の特色を活かした様々な食の場面を展開し、食べることの楽しさ・おいしさ・うれしさを味わわせる。
- ・クッキング保育やこども園ファームづくりを通して、自らの手で作って食べる喜びや、それぞれの季節に育つ食べ物に対する興味や関心をもてるようにする。
- ・アレルギー対応食の提供

〈具体的な方策〉

- ・行事食のある豊かな食生活
- ・調理の様子が見える「ワクワクキッチン」
- ・みんなで食べる「ウキウキダイニング」
- ・風を感じる「オープンテラス」
- ・作って食べよう「こども園ファーム」

「学びの芽を育む（考えてチャレンジする力）」

頭を使って遊ぶこと大好き

- ・ 0歳から5歳までの一貫した教育及び保育を行う。
- ・ 0歳～2歳：手を使い、体を動かし、人にかかわる経験を通して、よく遊び・よく考え・のびやかな心を育む
- ・ 3歳～5歳：一日の生活の連続性及びリズムの多様性に配慮し、子どもの主体性を重視した教育及び保育をする。
- ・ 子どもの興味・関心を引き出すために、午前の保育・午後の保育を工夫する。

〈具体的な方策〉

●午前の保育「風の子タイム」

- ・ 子どもの「やりたい」「遊びたい」を引き出す環境
- ・ 思考力の土台、読み書きの土台、図形・数量感覚を育む環境
- ・ 継続的で発展的な活動ができる「もの、空間、時間」の確保
- ・ 工夫、探求、挑戦を繰り返す場の保障

●午後の保育「そよ風タイム」

- ・ それぞれの興味、関心に沿ってじっくり遊べる環境（「アトリエ」「絵本スペース」「楽器スペース」など）
- ・ 地域の方と触れ合い、くつろげる環境

6 一日の生活の流れ

7：15～	8：30	あさ風タイム：ゆるやかに一日が始まる時間 「自分のペースで、心と体を目覚めさせていく」
8：30～	14：00	風の子タイム：パワーのある元気な時間 「環境を通して主体的な遊びを展開する」 (小学校以降の教育の土台を作る)
14：00～	16：15	そよ風タイム：じっくり自分の好きなことに没頭できる時間 「興味・関心に添ってじっくり遊びを展開する」
16：15～	18：15	風タイム：ゆったりとした休息の時間 「1日の終いを自分のペースでのんびりと過ごす」

7 特別支援教育への取り組み

- ・ 一人一人の発達の特性を理解し、適切な支援を行う。
- ・ 発達支援センターと連携し、療育園併用の子は、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促すことを目指す。

熱海市 目指す子どもの姿

「自分が好き、熱海が好き」 ～自分らしさを発揮し、たくましく生きる力をもった子どもの育成～

- 具体像
- 自分を大切にし、身近な人とのかかわりを楽しみ協力して遊ぶ子ども（つながる力）
 - 基本的な生活習慣を身に付け、体を動かすことが好きな子ども（元気に生活する力）
 - 考えたり試したりして、遊び込む子ども（考えてチャレンジする力）



園 目 標

「心豊かに たくましく生きる子」



教育・保育の重点（小学校への接続に向けて）

豊かな心を育む （つながる力）	健康な体を育む （元気に生活する力）	学びの芽を育む （考えてチャレンジする力）
自分に自信をもち、たくましく生きようとする力。自分の思いを伝え合い、友達と目的に向かって協力する力を身につける。	基本的な生活習慣を身につけ、運動や食事を楽しみ、心身ともに元気で安全に生活する力。1日の見通しをもって自立的に生活する力を身につける。	日々の生活や遊びの中で、自分のやりたいことを実現するために、工夫・探求・挑戦を繰り返し、粘り強く取り組む力を身につける。



人と関わること大好き

- 一人でも遊べる、友達とも遊べる場の確保
- ・2つの園舎を活用。0歳～5歳の発達に合わせた保育
- ・異年齢児との合同保育
- ・小学生との交流活動
- 様々な人と関わる
- ・保護者や地域の方の保育参加
- ・未就園児との交流
- ・外国人の先生と遊ぼう

熱海の自然大好き 体を動かすこと大好き

- 健康・安全に必要な習慣を育む生活環境
- 走り回れる「オープンスペース」
- 園舎の中にある「水場」と「運動遊具」
- 季節の変化を感じながら遊ぶ「中庭」「テラス」「戸外」
- うみ風、やま風、まち風に触れる「園外保育」
- 小学校の施設利用「プール・グラウンド」等

食べること大好き

- 行事食のある豊かな食生活
- 調理の様子が見える「ワクワクキッチン」
- みんなで食べる「ウキウキダイニング」
- 風を感じる「オープンテラス」
- 作って食べよう「こども園ファーム」

頭を使うこと大好き

- 午前の保育：「風の子タイム」
- ・子どもの「やりたい」「遊びたい」を引き出す環境
- ・思考力の土台、読み書きの土台、図形・数量感覚を育む環境
- ・継続的で発展的な活動ができる「もの、空間、時間」の確保
- ・工夫・探求・挑戦を繰り返す場の保障
- 午後の保育：「そよ風タイム」
- ・それぞれの興味、関心に沿ってじっくり遊べる環境「アトリエ」「絵本スペース」「楽器スペース」等
- ・地域の方と触れ合い、くつろげる環境

ゆったり
過ごせる乳児棟

個の発達に合わせ、
様々な感覚を育む保育
非認知能力の土台作り

じっくり
遊べる幼児棟

考え・工夫し・議論する
頭と身体をとことん
使って遊ぶ保育
非認知能力を育む

子どもの育ちを支える

「チームこども園」	「保護者と共に育てる」	「地域との連携」
・全職員で協力し、子ども一人一人の成長を支える。	・子どもの成長や子育ての大変さを共有し、保護者との信頼関係を築く。	・小学校、他機関との連携推進。 ・地域行事への参加。